

プログラム案
**世界大会－核兵器廃絶、気候危機の阻止と反転、社会的経済的
正義のために（2020年1月16日現在）**

**発言者の順序は変更の可能性あり*

2020年4月24日（金）

17:00～18:00：参加登録

18:00～21:00 開会総会

オープニング

日本の合唱団とアメリカ先住民による歓迎
正式な歓迎挨拶・会議の全体像紹介：ジョゼフ・ガーソン（平和軍縮共通安
全保障キャンペーン-CPDCS／アメリカ）
メッセージ紹介

全体会議

サーロー節子（広島被爆者／カナダ）
松井市長・田上市長（広島・長崎－招請中）
エレン・ホワイト・ゴメス大使（コスタリカー招請中）
ノーム・チョムスキー（著名な学者／アメリカ、ビデオ参加）
マイケル・クレア（ファイブ・カレッジ平和・世界安全保障研究／アメリカ）
キャシー・ジェットニル・キジナー（詩人・マーシャル諸島）
シーエ・バスティダ（サンライズ運動／アメリカ・メキシコ－招請中）
フィリップ・ジェニングス（国際労働組合総連合-ITUC・国際平和ビューロー
-IPB／イギリス）
バーバラ・リー（下院議員／アメリカ－招請中）

4月25日（土）

8～9時：参加登録

9:00 - 12:00：全体会議 パネル討論形式

セクション1（報告と分析）：

ヒバクシャパネル：被団協（氏名未定）、韓国被爆者（氏名未定）、レオナ・
モーガン（ナバホ核問題研究グループ）
ビル・マキベン（350.Org／アメリカ－招請中）
青年代表（未定）
バーバー牧師あるいはテオハリス牧師（貧しい人々のキャンペーン／アメリ
カー招請中）
ウォルデン・ベロー（フォーカス・オン・ザ・グローバル・サウス／フィリ

ピン)
オレグ・ボドロフ (クリーンなバルト海連合／ロシア)
ビナラクシュミ・ネプラム (武器規制基金／インド)

セクション2 (行動と戦略)

エマド・キヤエイ (IGD グループ／イラン)
シャロン・ドレヴ (イスラエル軍縮運動)
コ・ヨンデ (平和と統一を求める人々-SPARK／韓国)
アリエル・ドウニ (国際平和ビューロー／フランス)
秋葉忠利 (原水禁)
アンドルー・リクターマン (西部諸州法律基金-WSLF／アメリカ)
シャラン・バロー (国際労働組合総連合-ITUC／オーストラリア)
ソフィア (ソーダ) ・ガルシア (女性平和構築者グローバルネットワーク／フィリピン)

12:00 – 13:00 昼食休憩

13:00-14:30 分科会／フォーラム①

14:30-16:00 分科会／フォーラム② 詳細は別紙：

16:00 – 17:00 閉会総会

グテレス国連事務総長 (招待中)
ベアトリス・フィン (核兵器廃絶国際キャンペーン-ICAN／スウェーデン)
原水協代表 (氏名未定)
ジャッキー・カバソ (全米平和正義連合・WSLF／アメリカ)
会議組織委員会の声明の発表
閉会

現在提案中の 4/25 午後の分科会と提案者リスト

(時間帯と会場割り振りは未定)

1. グローバル・ヒバクシャの証言（原水協、被団協ほか核被害者団体）：

広島・長崎の被爆者と、韓国、マーシャル、先住アメリカ人、核事故の被害者（および枯葉剤被害者など大量破壊兵器）が核兵器・大量破壊兵器の非人道性を告発し、正義と核兵器のない平和な世界を求める自らのたたかいを証言。

2. 軍事基地・同盟とのたたかい（IPB と協力組織）

3. 軍事支出（IPB バルセロナ事務所と協力組織）

4. 核のない未来のための議員と市民社会・NGO のフォーラム（原水協、核保有国・依存国の有力平和運動の共催）

核保有国／核依存国の（国会・地方）議員と市民社会・NGO、平和運動団体が、自国の核兵器禁止条約の批准など非核の政治の実現と核兵器のない世界をめざして意見交換し、政治変革へ共同のステップを探求するフォーラム。

5. 原子力発電所（ローザルクセンブルク財団）

6. ICAN, IPPNW（核戦争防止国際医師会議）のワークショップ：

核兵器禁止条約の状況と展望、発効に向けた人々、団体の促進運動への参加、第一回締約国会議の成功、核兵器国・同盟国内での政治的多数派に向けた進展

7. 気候変動と軍事優先主義（平和軍縮共通安全保障キャンペーン/CPDCS）

軍事活動が気候危機に及ぼす影響、気候危機がいかに軍事紛争を引き起こしているか、アメリカその他の軍隊が気候変動に対応しているか。マイケル・クレアほかが発言。

8. 労働組合・労働運動のワークショップ（ITUC）

9. AI, 自動化、ロボット化（現在開発中の未来型兵器）（IPB）

10. 朝鮮半島（参与連帯、SPARK）

11. アメリカの選挙と諸問題（ピースアクション）

12. 被爆者から学ぶ：労働組合運動がなぜ核軍縮に取りくむか（全労連、戦争反対労働運動 USLAW、UE ほかー未定）

被爆 75 年の今年、悲劇を未来に繰り返させないために活動を続ける被爆者の証言聞き、全労連や USLAW, UE などアメリカの労働運動がなぜ平和・核軍縮が重要な労働組合の任務とすべきなのかを考える。

13. 因果関係：平和、正義、民主主義、環境的に持続可能な社会を目指す諸運動の共通の基盤を探求する（WSLF）

14. 平和首長会議の分科会

15. 国際人道法と核兵器（WSLF）

16. 青年の組織者の分科会（青年組織委員会）

17. 暴力に取り組む新たな倫理的フレームワーク（パクス・クリスティ）

18. アジア太平洋の地政学、気候と運動の優先課題（CPDCS）

米中の地域覇権をめぐる競争の力関係と影響と、アジア太平洋の運動の優先課題を探求する。ウォルデン・ベロー、韓国、日本、アメリカの運動から発言。

19. 中東非核兵器地帯（イマド・キヤエイ）

中東の市民社会の活動、非核兵器地帯と核兵器禁止条約その他国際条約との関係についての発言と、この地帯の中と国際社会が何をすべきかを討論する。

20. 核のない世界のためのマンハッタンプロジェクト（原水禁）

21. 核からの撤退（分科会①、原水禁）

福島第一原発事故とプルトニウム蓄積、日本の核燃料サイクル問題

22. 核からの撤退（分科会②、原水禁） 同上

23. 核兵器産業からの投資引揚げとボイコット（IPPNW）

核兵器製造企業と投資企業に対する投資引揚げとボイコットに関する分科会。化石燃料企業からの投資引揚げキャンペーンとの協力を目指す。人類生存を脅かす2つの脅威を助長するこれらの企業に流れる資金と支援を止めさせるために、どの点でどのように協力して活動できるかを探る。

24. 超右翼的潮流とのたたかい（仮・ローザルクセンブルク財団と UE）

その他提案中の分科会：

日本反核法律家協会「核兵器のない世界」

セネカ・インディアン提案の分科会

クリスチャン・シオバナ／核時代平和財団「2つの生存に関わる脅威」